

外国人向け 観光ガイド育成 117人受講 明治大学と新宮市など連携事業



(07314
700) また
A(0731
6720)で
約申し込みを

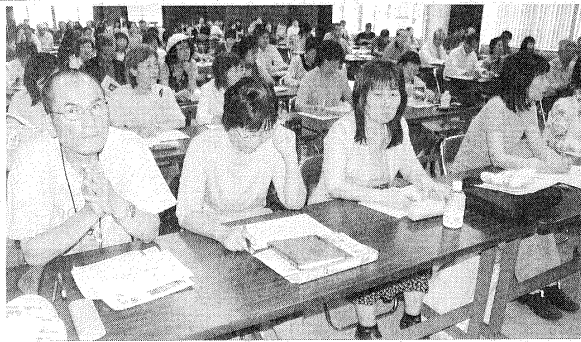


講義する林明治大学教授

明治大学と新宮市な「社会人の学び直しニ
ど熊野地域の自治体が
連携して観光活性化に
貢献できる人材を育て
る」外国人向け観光ガ
イドの育成プロジェクト
が14日、新宮市福
祉センターで始まっ
た。
このプログラムは、
文部科学省委託事業

「社会人の学び直しニ
対して教育推進プロ
ジェクト」として行うも
ので、この日から翌年
2月までの全20回講座
で開催。16回以上の受
講者に履修証明書を授
与される。
受講者は、新宮市を
中心に和歌山県、三重
県、大阪府から申し込
みのあった計117
人。プロジェクトのコ
ーディネーターを務め
る明治大学経営学部の
崎章浩教授は「キープ
ドはエンジョイ。リ
ラックスして英語を楽
しんでいただきたい」
とあいさつした。

この日の講座は、熊
野地域の歴史と文化や
外国人の文化を学び、講
義内容を要約した英文
を読む時間が設けられ
た。熊野地域の歴史と
文化については明治大
学の林雅彦教授、外国
文化(中国)について
は同大の鈴木将久准教
授、ガイドのための英
会話の基本的講義は英
会話教室主宰のティム
・ディットマーさんが
担当。
林教授は「神話の中
に熊野に関する貴重な
話が納められている。
墓、死者の霊、黄泉の
国が日本書紀の記述か
らうかがえる。聖地と
しての熊野を考えてい
い」と語り、文献を示
しながら中世までの熊
野を講義。受講者たち
はメモを取るなど熱心
に聞いていた。
午後の講義までの昼
時間には、新宮市観光
ガイドの会によるオプ
ションツアーもあり、
市外の受講者たちが神
倉神社、浮島の森や徐
福公園を見学した。



熊野地域の歴史と文化について聞く受講者